

財団活動のご報告（H28年度～H29年11月）

1 シンポジウム

「どうなる・どうするあなたの町村【2】 『離島』から地域創生を考える」開催
2016年11月29日（火）14：00～17：30 沖縄県市町村自治会館2階会議室
主催：沖縄県離島振興協議会・一般財団法人地球共生ゆいまーる
後援：桜美林大学・沖縄県町村会

「どうなる・どうするあなたの町村 沖縄から地方創生を考える」（2016年3月16日開催）のシンポジウムで問題提起された「離島力」に焦点をあて、シリーズ【2】として上記のシンポジウムを開催致しました。

桜美林学園の佐藤東洋士総長や内閣府沖縄総合事務局の能登靖事務局長にご挨拶を頂きました。基調講演は、「有人国境離島法の施行に向けて—国境離島に寄り添いながら—」と題し、総合海洋政策本部の甲斐正彰事務局長（当時）より、法律制定の趣旨や国境離島が取り組んでいる活性化事業についての具体的なお話を頂きました。橋本理事長からは、「広域離島高等学校群の創設を」として問題提起を行いました。

パネルディスカッションは、甲斐総合海洋政策本部事務局長（当時）、能登沖縄総合事務局長、小西関西学院大学大学院教授、宮里座間味村長、安慶名沖縄県企画部統括監、本村琉球大学教授にご参加頂き、沖縄振興局より古谷雅彦官房審議官（当時）にお越し頂き、広域離島高等学校群の設立に向けた具体的な討論を行いました。会の様子は、シンポジウム当日のNHKニュース8：45で放映されました。

沖縄タイムス

2016年(平成28年) 12月 1日 木曜日



15の春、解消へ 広域高校設立を 離島地域活性化シンポ

「離島から地域創生を考える」シンポジウム（主催・県離島振興協議会、地球共生ゆいまーる）が29日、那覇市の自治会館であった写真。基調講演で登壇した地球共生ゆいまーる理事

長の橋本晃和氏は離島の教育格差の解消に向け、一定の広域ごとの高校や分校の創設、ICT（情報通信技術）を活用した遠隔授業の実施の必要性を提起した。パネルディスカッションは県や内閣府の代表者らが意見交換。離島市町村を代表して座間味村の宮里哲村長は、高校進学のため15歳で離島を離れる15の春に触れ、「生徒は精神的負担を抱え、親にとっては経済的負担もある」と強調。子と一緒に本島に渡る母親などについて、将来的に人口や税収減につながる」と指摘した。橋本氏が提起した離島広域の高校創設などに、宮里村長は「離島住民の選択肢を増やすため、議論を進めることが大事だ」と語った。

2 離島訪問及び与那国町 ICT 実証実験の視察

シンポジウム（2016. 11. 29）で提言した「広域離島高等学校群」設立に向けて、橋本理事長は内閣府の指示を受け、伊江村（'16. 6/29-30）、伊是名村（'17. 4/11-13）、竹富町（'17. 5/9-11）、粟国村（'17. 6/6-7）、座間味村（'17. 6/8、6/27）を視察しました。各島で授業視察及び町村長や副町村長、教育委員会、各町村の担当課長と意見交換を行い、実現に向けた課題を探りました。



【座間味村でコンピュータの授業視察】 【鳩間島 西表島から通学する児童】

2017年8月23日から25日の日程でICT実証実験が与那国町で行われました。内閣府から連絡を頂き、与那国町を視察しました。この実証実験は「沖縄離島活性化推進補助金」を活用し、西原町の琉球大学でと与那国町の中学校校舎をインターネットでつなぎ、遠隔授業を行うというものです。校長経験のある先生が琉大で数学、国語、英語の授業をカメラの前で行い、与那国町では、島出身で現在は本島の高校で通学する生徒9名がオンラインで授業を受けました。

与那国町側から視察した橋本理事長の感想は、映像の遅れもなく先生がその場にいるような臨場感があったとのこと。与那国町でも町長をはじめ、教育委員会、実証実験に参加した生徒本人や父母とも意見交換を行い、生の声を聴いて参りました。



3 「沖縄離島に広域高等学校群を創設せよ」月刊潮(17年12月号)に寄稿

『「沖縄・普天間」究極の処方箋』（橋本晃和著）を2017年3月、潮新書より出版致しました。そのご縁で、月刊潮の担当副編集長より、「広域離島高等学校群について寄稿を」と依頼を受けました。離島の訪問記を基に具体的方策を記述しました。記事を同封致しましたので、是非お読みください。

広域離島高等学校群を「Wide Area Solitary Islands High school-Group」略称 WASH-G と名づけ、沖縄の離島村長及び教育関係者・父兄の熱い要望を受けて、国立の広域離島高等学校群の創設に向けて尽力しているところです。

現状は、官邸、内閣府、沖縄振興局の担当者の内諾を得て、連絡を密にとっています。皆様方のご支持・ご指導をお願いいたします。